

日本学術会議 科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会（第 25 回）
議事要旨

日 時 2013 年 12 月 12 日（水）16:00-17:30
場 所 日本学術会議 5-A（1）会議室（5 階）
出席者 荒川委員長、松沢副委員長、西尾幹事、長野幹事、伊藤委員、岩本委員、大隅委員
（スカイプ参加）、永原委員
陪 席 日本学術会議事務局（盛田参事官、辻上席学術調査員、太田参事官付）

配布資料

- (1) 資料 1 第 24 回分科会議事要旨（案）

議題

- 1) 前回議事要旨（案）の確認

資料 1 に基づいて、第 24 回分科会議事要旨の確認が行われ、原案通りに承認された。

- 2) 荒川委員長より、科学者委員会で本分科会での議論内容、特に大型研究計画・重点大型研究計画の策定方針について説明を行ったとの報告があり、その科学者委員会では大きな修正を求める意見は特になく、次回の科学者委員会に大型研究計画・重点大型研究計画のリスト(案)を資料として提出する旨の報告があった。

- 3) 今回のマスタープランのタイトルについて、マスタープラン 2010 およびマスタープラン 2011 を参考に、種々意見が交わされた。今回は計画の提案を大型施設計画と大規模研究計画に分けて募集していないことなどを考慮して、議論の結果、「第 22 期学術の大型研究計画に関するマスタープラン(マスタープラン 2014)」とすることとした。

- 4) マスタープラン 2014 は、国が実施すべき大型研究計画、それ自体を提言する観点から前回（第 24 回）の本分科会での議論通り、「提言」として発出することとした。

- 5) マスタープラン 2014 の構成について議論された。以下に要約する。

- ① マスタープラン 2014 には重点大型研究計画と大型研究計画を掲載するが、ヒアリングを行った大型研究計画 66 件を他の大型研究計画と区別はしないこととした。
- ② 各計画は日本学術会議分野別委員会の分野名称で分類する。ただし、第 1 部に関しては、策定過程に準拠して人文・社会科学にまとめて掲載することとした。
- ③ マスタープラン 2014 の構成（案）は以下の通りで案文を事務局で作成する。
 - (i) 委員名簿
 - (ii) 要旨
 - (iii) 目次
 - (iv) 本文
 - ・ 本提言の背景と目的
 - ・ 第 22 期学術の大型研究計画の策定方針・策定プロセス
 - ・ 学術領域の制定
 - ・ 大型研究計画の策定：審議過程、計画一覧表
 - ・ 重点大型研究計画の策定：審議過程、計画一覧表
 - ・ 結語
 - ・ 参考資料：課題説明(要旨)など

- ④ 重点大型研究計画・大型研究計画の一覧表を作成する。その項目は学術領域番号、計画名称（和文と英文）、所要経費、計画期間、計画概要、学術的な意義、社会的価値、主な実施機関と実行組織。
- ⑤ 計画の要旨は1計画あたり2ページとする。事務局が様式を作成し、それに従って提案者が図表を含め2ページにまとめる。ただし、原則として当初の提案からの内容の変更は不可。締め切りは12月下旬。

6) 今後の予定

次回は2015年1月9日10時から開催予定。

以上